

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：角・奈良井]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

令和元年度 病害虫発生予察情報 臨時情報第1号

令和元年8月5日

島根県

トビイロウンカの発生量が近年になくやや多いため、臨時情報を発表します。現地では発生状況の把握に努めるとともに、薬剤散布など防除対策をお願いします。

記

1. 病害虫名 トビイロウンカ
2. 発生地域 県下全域
3. 発生時期 主として8月上旬～（第2世代若～中齢幼虫）
4. 発生量 やや多い

5. 臨時情報の根拠

- 1) 7月25～27日の巡回調査（粘着板による払い落とし）において、発生ほ場率10.9%（平年4.2%）、虫数0.6頭/50株（平年0.12頭）で、産卵数の多い短翅成虫が主体である。この時期としては捕獲虫数がやや多く、過去10年間で2番目の発生量となっている。（図1）
- 2) 捕獲虫数は、県東部に比べ県西部で多く、発生ほ場は増加傾向にある。
- 3) 1か月予報（8月1日広島地方気象台発表）によると、8月の気象は本種の発生を抑制する要因とはならない。

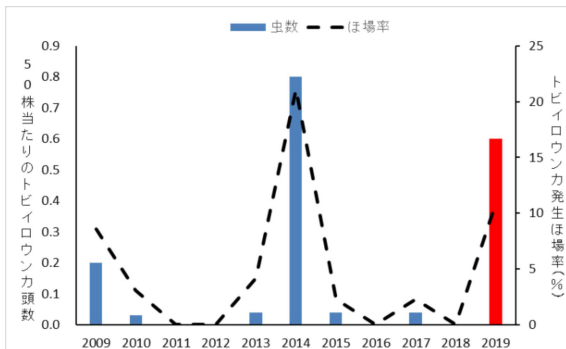


図1 過去10年間のトビイロウンカ捕獲虫数および発生ほ場率（7月下旬）



図2 粘着板上のトビイロウンカ雌成虫(短翅)（7月下旬巡回調査）

6. 防除対策及び防除上の注意事項

- 1) 現在ほ場で確認される成虫は第1世代成虫と推定され、第2世代幼虫の発生は8月上旬～中旬と考えられる。（図2）
- 2) 第2世代若中齢幼虫期の防除は第1世代老齢幼虫～成虫期（7月下旬～8月上旬）に成幼虫が1株当たり1頭程度以上であれば必要である。本虫は同一ほ場内でも生息密度の差がかなりみられるので、発生状況の確認は数か所で行う。
- 3) 散布にあたってはトビイロウンカの生息部位である株元に、薬剤が十分到達する散布器具、方法を用いる。散布後は防除効果の確認を行う。
- 4) 収穫が遅い品種、ほ場などは、特にトビイロウンカの発生状況に注意する。
- 5) 薬剤の使用にあたっては、農薬の使用基準ならびに農作物病害虫雑草防除指針の注意事項を遵守する。